



## 広がれ、こども食堂の輪！全国ツアーin山口を開催しました

5月13日に、「広がれ、こども食堂の輪！全国ツアーin山口」を山口県立大学にて開催しました。基調講演は社会活動家であり法政大学教授の湯浅誠さんと、認定NPO法人フードバンク山梨の米山けい子さんにご登壇いただきました。午後からの分科会では、県内外から各分野のスペシャリストを招いて「子ども食堂」、「フードバンクとの連携」、「居場所づくり」について有意義な発表と情報交換が行われました。

こども食堂は、様々な子どもたちや地域のニーズを満ち、貧困や孤立といった問題に対し、社会の大切なセーフティネットとなり得る存在です。フードバンクや地域の資源を十分に活用しながら、こども食堂が今後山口県で広がる可能性と手応えを感じた一日でした。ご参加くださった皆様、ありがとうございました。



社会活動家  
法政大学教授 湯浅誠さん



認定NPO法人  
フードバンク山梨 米山けい子さん



当日の会場の様子



## レノファ山口FCの観戦に行きました

7月21日になのはなクラブの子どもたちとレノファ山口FC vs 水戸ホーリーホックの試合を観戦しました。試合が始まると、スタッフ、ボランティア、子どもたち一丸となってレノファを応援し、大いに盛り上がりました。低学年の子は早めに飽きるかな、と思いましたが、以外にも皆一生懸命応援し、タオルを回しながら「いけー！レノファー！」と叫んでいました。

試合の結果は同点。サッカーに興味なかった子どもたちも、皆レノファファンになったようでした。「あ〜、めっちゃたのしかった！」この一言が聞けて、とってもうれしい夏の夜でした。

この度の観戦は、レノファサポーターの方が、チームの応援と社会貢献のために、という趣旨でレノファ様と山口県福祉人材センター様を通じ、チケットを準備してくださいました。心からお礼を申し上げます。

特別な行事は子どもたちの顔がキラキラと輝きます。今後もできる範囲でこのような体験を企画していきたいと思っております。



維新みらいふスタジアムでの観戦の様子

# 明日花アルバム

4月～7月の明日花の活動です



周南市から委託を受けて「子どもの貧困に取り組む担い手づくり養成研修（前期）」を実施しました。



多くの方々からたくさんの食材の寄付をいただきました。おいしいごはんを作ることができました。



勉強会では中学3年生の姿が増えてきました。受験まで、全力サポートします。



山口県立大学の学生が地域共生演習の授業でなのはなクラブに来てくれました。



続く猛暑のため、室内で遊ぶ日々が続いています。子どもたちは遊びを考える天才です。



野田学園の6年B・C組の皆様が、文化祭の模擬店での上げをこども明日花プロジェクトに寄付してくださいました。



今年度最初のシングルカフェは山口県立大学の学生と一緒に、ひとり親の現状と課題についてのワークを行いました。



教えて!!

# 明日花サポーター！

西京旅館 若女将 長安里枝様

西京旅館の若女将の長安里枝さんは調理ボランティアとして明日花の活動に参加してくださっています。また、旅館のフロントに明日花のチラシと募金箱を置き、お客様への寄付の呼びかけも積極的にしてくださっています。長安さんが子どもの貧困問題に興味を持ち、実際にボランティアとして参加するようになったきっかけをお聞きました。

## 1. 明日花に関わるきっかけは？

昔は小学校の友達が放課後毎日旅館に遊びにきていました。彼らにとっては「居場所」のようなものだったと思います。湯田という場所柄、様々な事情を抱えた子どもたちが多く、幼馴染もそれなりに困りごとを抱えていなのではないかと思います。幼いながらも、このような問題（今で言う貧困問題）に問題意識はありました。

明日花のスタッフの方からお手伝いのお話を受けたとき、子どもたちに関わるボランティアをすることは、私にとって自然な流れでした。

## 2. ボランティアをして気づいたことは？

自分の都合がつくときに、調理のボランティアとしてお手伝いさせてもらっています。子連れで参加できるので、大変ありがたいです。来ている子どもたちはもちろん、ボランティアさんにもいろいろな立場の人がおり、自分の子どもたちにも偏見や差別なしに、様々な人々と触れ合っていて欲しいと思っています。

私をふくめ、人間はいつ何があるかわかりません。全てはお互い様で、誰かを支えることで自分も支えられている、と感じます。現在妊婦の私ですが、明日花に来ている子どもたちは、毎回寄ってきて、お腹をさすってくれます。彼らから元気をもらうことの方が多いです。作った料理に対し「これ、まずい！」と正直に言う彼らも可笑しくて可愛いです。

## 3. 募金箱を置かせていただいています、お客様の反応はいかがですか。

旅館のフロントに置いてあります。お客様がお釣りの端数を入れてくださったり、ときにはお札で入れてくださるときもあります。皆様、特別なことをしている、という様子ではなく、日常の当たり前のように寄付をしてくださいます。

また、明日花の活動をご存知の方も多く、「応援していますよ」とお声をかけていただくこともあります。

## 4. 今後挑戦してみたいことなどはありますか。

今のペースでボランティアを続けていけたら、と思っています。料理に興味のある子どもと一緒に調理ができれば嬉しいです。また、なのはなクラブに関しては親御さんも一緒に参加できたらなお良いだろうなあ、と感じるときがあります。子どもも親も気軽にふらっと寄れる場所が地域にもっともっと増えて欲しいと思っています。

## ボランティアさんを募集しています！

こども明日花プロジェクトでは、子どもたちに寄り添う学習支援、調理、体験活動などのボランティアを随時募集しています。皆様のご協力を心からお待ちしております。まずはお気軽にご連絡ください。



## フードバンクを通して(株)丸久様からの直接支援が始まりました

山口県では今年度「食料支援仕組みづくり」事業に取り組んでいます。これは、こども明日花プロジェクトのような子どもの居場所づくりをおこなっている団体に、安定的かつ効率的に食料を供給する仕組みを作ること、子どもの居場所を支援し、広げていこうとする取り組みです。その一例として、「事業所からの直接支援」があります。

こども明日花プロジェクトは今年の7月からNPO法人フードバンク山口を通して、(株)丸久の経営するアルク薬店と平川店から直接支援を受けることとなりました。さくらさく学習会やなのはなクラブの開催日の前日に直接アルクに伺い、普段買えない食材を頂いたり、調理ボランティアさんも毎週腕を振るって来ています。子どもたちも多くの食材を頂くことで、食に対する興味が湧いているようです。食材にかかるコストの大幅な削減にもつながり大変助かっております。

フードバンク山口様、(株)丸久様、このような素晴らしい仕組みを作ってください、本当にありがとうございます！



## あすはなカレッジ2018受講生募集

2018年9月29日から2019年1月19日まで計5回、山口県内の大学に在籍する大学生（希望者は高校生も可）や社会人を対象に子どもの貧困問題の支援活動に必要な専門知識や支援団体・企業との関係づくりを通じ、子どもの問題に関し自ら考え行動することのできる人材（ヤングワーカー）の育成を行います。詳しくは同封のチラシをご覧ください。



## 山口せわやきネットワークが認定NPO法人になりました

こども明日花プロジェクトの活動の母団体であるNPO法人山口せわやきネットワークは2018年5月8日付けで山口県から認定NPO法人の認定を受けました。

認定NPO法人は税制優遇があり、

**個人の場合→税額控除or所得控除のいずれかを選択して受けられる**  
**法人の場合→寄附額を損金算入できる**

といったメリットがあります。こども明日花プロジェクトは皆さまのご寄付により活動が成り立っています。この機会に、こども明日花プロジェクトへのご寄付にぜひご協力いただけたら幸いです。詳しくは同封の振込用紙付きのチラシをごらんください！

発行元

こども明日花プロジェクト（特定非営利活動法人 山口せわやきネットワーク）

〒753-0054 山口市富田原町4-45 なのはなハウス

TEL：070-3777-1187（児玉）FAX：083-901-1165

ホームページ：<http://asuhana.org/> Eメール：[info@asuhana.org](mailto:info@asuhana.org)